

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	17-002	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）		
<p>Quantifying the hepatotoxic risk of alcohol consumption in patients with rheumatoid arthritis taking methotrexate.</p> <p>メトトレキセート服用の関節リウマチ患者における飲酒の肝障害リスクの定量的評価</p>		
執筆者		
Humphreys JH, Warner A, Costello R, Lunt M, Verstappen SMM, Dixon WG.		
掲載誌		
Ann Rheum Dis 2017;76:1509–1514. doi:10.1136/annrheumdis-2016-210629		
キーワード		PMID
メトトレキセート、関節リウマチ、飲酒、肝障害		28341765
要 旨		
<p>目的： 飲酒によりメトトレキセート（MTX）の肝障害の可能性が高まるため、MTX 服用中の関節リウマチ患者には飲酒制限が勧められている。しかしそのことを裏付けるデータは乏しい。本研究の目的は、通常のプライマリ・ケアのデータを用いて、飲酒量別に肝機能異常のリスクを定量的に評価することである。</p> <p>方法： データベース“the Clinical Practice Research Datalink”を用いて、1987～2016 年の間に MTX を開始した関節リウマチ患者を対象とした。肝障害は ALT（GPT）または AST（GOT）の基準値上限 3 倍以上の高値。週当たり飲酒量別に肝障害の粗発症率（1,000 人・年）を算出した。Cox 比例ハザードモデルを用いて、飲酒量と肝障害との単変量回帰的な関連を検討し、次いで性・年齢調整後の関連を検討した。</p> <p>結果：解析対象者 11,839 名のうち 530 例の肝障害者が発生した（追跡 47,090 人・年）。飲酒量を連続変数とした場合、週当たりの飲酒量は肝障害リスクと正の慣例があった：飲酒 1 単位上昇あたりのハザード比（HR）は 1.01（95%信頼区間=CI 1.00-1.02）であった。週当たり 15 から 21 単位の飲酒で肝障害リスクの可能性が示唆された一方、21 単位より多い量では有意なリスク上昇を認めた：HR（95%CI）1.85（1.17-2.93）。</p> <p>結論： 週当たり 14 単位未満の飲酒では肝障害のリスク上昇は認めなかった。</p>		